

西洋建築史  
試験問題

中島智章

1.次の建築作品・著作の施主または作者を右の3群の中から選び、解答欄に数字で記入せよ。配点:15問×3点=45点

- 01) ヴィツラ・アドリアーナ(ティヴォリ)    アウグストゥス帝    トラヤヌス帝    ハドリアヌス帝  
02) サンタ・マリア・ナシェンテ大聖堂(ミラノ)    聖アンブロシウス    フィリップ・ドゥ・ボナヴァンチュール    スゲリウス  
03) コンスタンチノーブルの二重城壁    コンスタンティヌス帝    テオドシウス帝    テオドシウス2世帝  
04) サンタ・マリア・デッレ・グラーツィエ教会堂(ミラノ)    フィリッポ・ブルネッレスキ    フィラレーテ    ドナト・ブラマンテ  
05) オスペダーレ・マッジョーレ(ミラノ)    フィリッポ・ブルネッレスキ    フィラレーテ    ミケランジェロ・ブオナローティ  
06) カルナヴァレ邸館(パリ)    フランチェスコ・プリマティッチョ    ピエール・レスコ    フランソワ・マンサール  
07) マウリッツハイス(デン・ハーフ)    ヤコブ・ファン・カンペン    ミヒール・デ・ロイテル    メンノ・ファン・クーホールン  
08) サンタンドレア・アル・クリナレ教会堂(ローマ)    ミケランジェロ    ジョアンロレンツォ・ベルニーニ    ピエトロ・ダ・コルトーナ  
09) サン・ロレンツォ教会堂(トリノ)    フィリッポ・ブルネッレスキ    グアリーノ・グアリーニ    フィリッポ・ユヴァッタ  
10) ヴォー・ル・ヴィコント城館    ピエール・レスコ    フランソワ・マンサール    ルイ・ル・ヴォー  
11) アマーリエンブルク離宮(ミュンヘン)    フィリベール・ドゥ・ロルム    ロベール・ドゥ・コット    フランソワ・ドゥ・キュヴィイエ  
12) 四国学院(パリ)    フィリベール・ドゥ・ロルム    ジャック・ル＝メルシエ    ルイ・ル＝ヴォー  
13) プロワ城館オルレアン翼棟(プロワ)    ピエール・レスコ    フランソワ・マンサール    アンジュ・ジャック・ガブリエル  
14) ヴェルサイユ宮廷歌劇場    ルイ・ル・ヴォー    ジュール・アルドゥアン・マンサール    アンジュ・ジャック・ガブリエル  
15) プロピュレイア(ミュンヘン)    ヨハン・パルタザール・ノイマン    ヨハン・ヨアヒム・ヴィンケルマン    レオ・フォン・クレンツェ

- 01)      02)      03)      04)      05)  
06)      07)      08)      09)      10)  
11)      12)      13)      14)      15)

2.次の文章中の空欄を適切に埋める名詞を解答欄に記入せよ。配点:15問×3点=45点

- 1)のa)は古典表記に基づくカタカナ、その他は漢字が現代語発音に近いカタカナ表記。それ以外は0点。  
2)～5)の人名は君主名を除いてフルネームで記すこと。名字のみは1点。個人名のみは0点。アルファベット表記は0点。

- 1) 現存する古代唯一の建築書『建築十書』を表した(a )によると、古代神殿の立面形式は、柱と柱の間隔をどのように調節するかにしたがって次の5種に分類される。すなわち、ピュクノステュロス=密柱式、シュステュロス=(b )式、エウステュロス=(c )式、ディアステュロス=隔柱式、アラエオステュロス=疎柱式である。 a) b) c)
- 2) チェコの首都プラハの司教座聖堂はプラハ城内にある(a )聖堂である。フランスからやってきた(b )の指導で建立されたこの聖堂は尖頭アーチ、リブ・ヴォールト、フライング・バットレスを備えた本格的なフランス風(b )様式の教会建築である。このように、聖堂建設に携わった石工たちは各地に遍歴し、この様式は全欧州に広がっていった。 a) b) c)
- 3) 様々な教養に富んだ元祖「万能の人」(a )は1452年に『建築術論』を著し、その第1書の中で、建築の基本要素として次の六つを挙げた。すなわち、敷地、床面、分割、(b )、覆い、(c )である。この中に円柱は含まれておらず、彼にとっては列柱ですら(b )の一種にすぎない。まさに西洋建築の構法の本質を見事に表現した理論である。 a) b) c)

- 4) フランス式庭園は幾何学式庭園の一種で、その名の通り、花壇、池や木立の形も幾何学図形に基づいた整った造形が特徴となっている。17世紀のフランスに発し、全欧州を席卷した。財務卿ニコラ・フーケの豪華な城館(a )の付属庭園や太陽王(c )世のヴェルサイユ宮殿付属庭園を手掛けた(b )が代表的造園家である。
- 5) ドリス式はギリシアとローマで違いがあり、後者の方がより細く、柱身の下に(a )を備えている。近世には後者だけが用いられたが、パエストゥム発掘やアテネでの実測調査の進展によって古代ギリシア建築の真の姿が明らかとなり、ギリシア風オーダーを用いた(b )主義建築が出現する。(c )はその傾向とマニエリスム様式を巧みに融合した。

**3.次の問いに答えて、要求されたイラストを描け。 配点:10点**

稜堡式築城術によって築かれた軍事計画都市の名称を二つ挙げよ。また、稜堡式築城術の断面略図を、大砲や兵士の位置が分かるように描き、その略図に「堀」以外のディテール名称を最低三つ書き入れよ。

建造物名称 1) 2) 配点:2問×2点=4点

断面略図 配点:イラスト3点(上=3点、中=2点、下=1点、なし=0点)+ディテール名称3問×1点=3点